

進路通信

大東市立住道中学校
進路指導通信
令和2年4月8日
第1号
校長 岡本 功
進路主事 林 光彰

進路選択の3年生になりました。新学年のはじめは、本格的に進路に向けて準備や学習を始めるいい機会です。卒業まで11か月間の学習計画を立てましょう。この進路通信は、皆さんの進路選択に必要な情報を提供します。本号は、年間の進路関係の予定を掲載しています。参考にして自分の年間計画を立てましょう。

昨年度の1年間の予定です

参考にしてください！！

月	日	主な進路関係行事	月	日	主な進路関係行事
4	8	始業式	11	上旬 中旬	実力テスト④ 進路懇談 期末テスト
5	上旬 下旬	進路希望調査①(提出締切) 実力テスト① 保護者向け進路説明会		下旬	
6	中旬 中旬 下旬 下旬	大阪府チャレンジテスト } 二者懇談 進路希望調査②(提出締切) 期末テスト	12	上旬 上旬～ 中旬 中旬～ 冬休み	進路希望調査⑤(提出締切) 職業相談・職場見学 進路指導委員会② } 期末懇談 } 私学願書入手(志願先訪問)
7	上旬 中旬 中旬	進路指導委員会① 期末懇談 学校長面接指導	1	上旬 上旬 下旬 下旬 下旬	私立高校等進路相談 実力テスト⑤ 府大高専特別入試 ※ 卒業テスト(予定) 私立高校等出願(予定)
8	上旬 上旬 下旬 下旬	(高校等体験入学・説明会) 市・公立高校説明会(市民会館) 府・公立高校進学フェア(本町) 2学期始業式 実力テスト②	2	上旬 上旬 上旬 中旬 中旬 中旬 中旬 中旬 下旬	学校長面接指導(私立等) 職業技術専門校入試・就職選考 府大高専出願 ※ 私立高校等入試・面接(予定) 私立高校等合格発表 府大高専入試 ※ 公立特別選拔出願(音楽:上旬) 公立特別選抜入試 進路指導委員会③ 進路懇談(三者)
9	上旬 中旬 上旬～ 下旬	進路希望調査③(提出締切) 予約奨学生申込開始 進路懇談(二者) 体育大会			
10	上旬 上旬 中旬 下旬 下旬 下旬	実力テスト③ 予約奨学生申込締切(厳守) 中間テスト 合唱コンクール 文化祭 進路希望調査④(提出締切)	3	上旬 上旬 中旬 中旬 中旬 下旬	公立特別選抜発表 公立一般出願(予定) 公立一般入試 第71回卒業証書授与式 公立一般合格発表 公立二次入試(発表24日)

「高校へ行く」と決めよう!

(1) 高校で何をするのか

高校は人生の通過点の一つです。そのために、「何のために高校に行くのか」、「高校で何をするのか」全ての高校の先生がそう言われます。

高校入試の面接で聞かれたり、自己申告書で書くのは「本校で何をしたいですか」「3年後の自分を想像してみる」など高校入学後の目標です。

「甲子園球児に」「国立(競技場)を目指す」「花園出場を」と部活にがんばることも、「国公立大学進学を」「看護師になるために」と勉強一筋の高校生活を定めることも、美容師になるために高卒資格が必要だからと卒業を目標にがんばることもOKです。ともかく、はっきり目標を持っている人は強いです。

(2) 高校を自分で選ぶ

「友達が行くから」、「親が言うから」、「塾で勧めるから」、というのではなく自分で選んでください。ただそれは「夢」を語れと言っているわけではありません。実現可能なのか、資料を見て、その高校へ行って五感で感じてください。その上で、自分の感覚と、自分の高校での目標と、自分の成績が、無理なく合っているのか判断し決めてください。

そのためにも、体験入学・オープンキャンパス(主に9～11月の土・日に開催、早い所では6月から行っています。)に積極的に参加して、自分の目で見て聞いて感じてください。

一年間の学習計画を作ろう!

(1) 自分にあった計画を

どんなことでも、完全になしとげるためには、まずキチンとした計画をたて、その計画にしたがって着実に進めていくことが大切です。君たちのこれからの11ヶ月の勉強もこれと同じで、最初にポイントをおさえた合理的な年間計画をたてて出発することが大切です。

ところで、これからの年間計画は自分で立てなければなりません。自分の実力の程度は自分が一番よく知っているからです。もちろん、先生方や先輩の意見を参考にすることも必要でしょう。それでは、合理的な年間計画をたてるには、どんな点に注意したらよいでしょうか。

・無理なく、ゆとりを持った計画を

余裕のない計画は長続きしません。自分の出来る範囲のペースで計画を立てましょう。今まで勉強する習慣のなかった生徒は、3年生になったのを機会に勉強の習慣をつけましょう。今までできていた人は、+αで復習の時間を増やしていきましょう。

・学校の授業や行事と関連させて計画を

学校の授業をまったく無視した計画ほど損な計画はありません。それに、校外学習、文化祭、体育大会、定期テスト、実力テストなど早めにわかっている学校行事とにらみ合わせて計画をたてることも大切で、その時になってあわてることのないようにすることも忘れてはなりません。

以上の点に注意して、あまり細かなものでなく、大ざっぱな基本的な年間計画をさっそくたててみましょう。

(2) 1年間で3期に分けて

そこで、これから11ヶ月間を3期にくぎって、それぞれの期間の目標をきめ、それをめざして全力を集中させてがんばるようにすれば、大きな失敗をすることもなくすむはずです。

★第1期(4月～8月)

・・・基礎学力の完成・・・
(高校で何をするか決める)

- ① 1年の総復習
- ② 2年の総復習
- ③ 基本問題の練習
- ④ 夏休み・・・
3年1学期の総復習
不得意科目の克服

★第2期(9月～12月)

・・・応用力の養成・・・
(体験入学に参加し高校を選ぶ)

- ① 1・2・3年を通した問題練習
- ② 各科目の弱点補強
- ③ 冬休み・・・
3年2学期の総復習
自分の実力にあった問題練習

★第3期(1月～2月)

・・・総仕上げ・・・
(高校に合格する)

- ① 1・2・3年を通した総まとめ
- ② 過去問の研究
- ③ 要点の総復習

これを参考にして、自分の性格や能力を考え、各期間ごとに「この科目はこれだけやろう」という具体的な目標をたてます。

そして、その目標を月間計画や週間計画に割りふって、一つひとつ完成していくようにすれば自然に目標も仕上がることになるわけです。

(3) 教科書と授業を中心に

さて、年間計画をたてることとともに大切なことは、これから1年間何を中心に勉強していくかということです。

君たちのなかに、3年生になったら「もう学校の授業などよりも受験勉強に力を入れなくて」と、あせりだし、すぐに難しい参考書や問題集と取り組んだり、無理をして睡眠時間を減らす人もいます。

そういう意味の受験勉強は、今からはりきって始めたところで、中だるみにおちいってしまいますし、効果も半減してしまうでしょう。

学校の授業は受験勉強と関係がない、などと考えたら大まちがいです。学校の授業で教わったこと、これから教わることを正しく理解し応用力をつけることが大切です。

したがって、1、2年の復習は教科書を中心に、これから学ぶ3年の範囲の学校での授業を中心に勉強を進めていくべきです。高い参考書を買わなくても、君たちのそばには[生きた参考書]ともいえる先生方がおられます。

君たちの先輩は口をそろえて「**一番大事なのは、学校の授業と教科書だ。**」と率直に述べていますよ。

今から生活習慣を見直そう!

せっかく入学しても一部の生徒の中には退学する生徒がいます。退学した理由は様々ですが、目的意識がなく高校生活に熱意をなくした人、人間関係がうまく保てない人。そして、スマホ・携帯電話に流されて深夜まで起きていて生活リズムがくずれ日常的に遅刻を繰り返し、そのために1・2限目の教科書の出席時数が足りず退学。これらのパターンが多いようです。その人たちは中学校時代からの生活を変えることのできなかつた人のようです。運良く入試に合格し、せっかく希望の高校生活が始まって、習慣は抜けません。

「早寝」「早起」「朝ご飯」朝7時か遅くても7時30分には起床して、5・6時間勉強し、部活をして帰る。夜は11～12時前には眠る。この生活リズムが大事です。この生活リズムを今のうちから、体に習慣づけましょう。また、中学校中心の生活リズムなら勉強は計画通り実行しやすいです。最初は辛いかもしれませんが、習慣になれば辛くなりません。

進路室を開けます

東館2階の進路室は3年生のどの先生に頼んでも開けてもらえます。

「どんな高校があるのか?」「この高校の特徴は?」「あの高校に行くには?」等々、進路に関する情報を提供する場として、進路室を開けています。

原則として、**昼休み**、開けます。また、進路懇談実施日にも開けるようにしたいと思います。



進路室利用 は次の**ルール**を作っています。守って有効に利用して下さい。

1. 進路室は教員がいるときに限り利用できます。必要に応じて開けることができます。進路指導担当または3年の先生に申し出て下さい。
2. 進路室の資料は自由に見てかまいませんが、持ち出しはできません。
3. インターネットにつながっているパソコンも利用できますが、高校など進路に関わる事のみ、利用を限定します。
4. 進路室では、静かに利用してください。